

経営幹部育成プログラム「TRI 経営塾」開講 ～「1兆円企業」実現に向けて～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、将来の経営幹部の育成を目的とした人材育成プログラム「TRI 経営塾」を開講しましたので、お知らせいたします。

＜開講の背景＞

当社グループは、中期経営計画「2015年 TRI GROUP VISION」で掲げている、2020年代初頭に連結売上高1兆円の「グローバル・エクセレント・マニュファクチュアリング・カンパニー」となる目標を実現するため、社員教育の強化を進めています。「人材育成にまさる事業戦略はなし」との考えに基づき、全社員を対象とした業務スキル向上や論理的思考力養成など各種教育研修を充実しております。

それに加えて、グローバル化に対応して事業を牽引できる幹部社員を育成するための研修プログラムとして、「TRI 経営塾」を新設いたしました。

＜東海ゴムグループの人材育成プログラムの考え方＞

当社グループは、グローバル社員にふさわしい人格・知識を備え、行動できる人材の育成を目指して、全社員を対象とした「基礎・定期教育」「階層別研修」「ニーズ別研修」の3種類のプログラムを実施しています。こうした研修において、職務遂行に必要な知識やスキル、職場で能力を発揮できる素養づくり等を修得し、職場でのOJT（実務訓練）と組み合わせることで、全社員のレベルアップにつなげる狙いがあります。



東海ゴム研修センター「鶴沼三学館」を会場とする「TRI 経営塾」の実施風景

このたび開講した「TRI 経営塾」は、当社グループ初の経営幹部育成に特化した研修プログラムです。経営の基本を修得する「プログラム研修」（1年間）と、その集大成となる実践的な「タスクフォース研修」（約半年間）の2部構成とします。

「プログラム研修」は、異文化理解やマーケティングなどのテーマについて、当社に当てはめた場合の課題や対策をまとめて、西村社長ら当社幹部を交えて発表・討議を繰り返すほか、社外の研修会にも参加します。「タスクフォース研修」は、当社グループの経営課題を抽出し解決策を経営陣に提言することで、経営幹部としての知識や見識を、具体的な課題解決に生かす実践的な訓練の場となります。ここで議論された課題は、当社の事業運営にも反映していきます。

「TRI 経営塾」は毎年度開催し、「経営の定石」「経営の当事者意識」を伝授することにより、将来の経営幹部を早期に育成してまいります。

以 上